

隔離ほ場のユーカリ（非組換え体）に花芽が着きました



図1 2008年7月17日に見つかったユーカリ（非組換え体）の花芽

2008年7月17日に隔離ほ場栽培試験中の非組換えユーカリ1本に花芽が形成されていることを確認しました。直ちに栽培中の全42本のユーカリについて花芽の存在を確認しましたが新たな花芽は見つかりませんでした。花芽は10本以上ある枝のうち1本のみで、花芽は2つだけでした(図1)。今回花芽を付けた個体は昨年夏も花芽を形成しており、今後、昨年花芽を付けた2個体を含め、他の個体も注意深く観察を行う予定です。

また、昨年度の冬は厳しく、冬囲いを行ってもいくつかのユーカリは枯死してしまいました。

本栽培試験は下図のようなデザインにより植栽が行われています。周辺に緩衝用の非組換え体を1周(22本)配置し、内部に組換え体3系統、非組換え体1系統を4 x 5配置(計20本)で植栽されています。今回、花芽が確認された個体は○で囲った(図2)個体で、全て緩衝用非組換え体でした。本試験は外周の緩衝用非組換え22本を含んで申請がなされています。そのため、植栽中の全てのユーカリが試験申請の使用規定に従って栽培される必要があります。

本ユーカリの隔離ほ場栽培試験(第一種使用)については、

- ・花芽を切除し開花させない
- ・防風網により枝の飛散を防止する

という項目が使用規定(<http://www.bch.biodic.go.jp/>)に定められており、非組換え体であったとしても使用規定に反することが出来ません。そのため、7月17日中に花芽の切除を行いました。

図2 遺伝子実験センター 模擬的栽培試験圃場Ⅰ 全体図

